

地域の皆さまとともに

中小企業支援・地域貢献活動

中小企業支援・地域活性化への取り組み

ばんしん後継者養成塾

お取引先の事業承継支援として後継者・若手経営者の皆さまのお役に立てるように「ばんしん後継者養成塾」を3カ月に一度、延べ年間4回開催しています。

当塾は、次世代の経営を担う方たちに高度なマネジメントスキルを身に付けていただくことを目的に、経営の基本を総合的かつ体系的に学べるカリキュラムを設定しています。また、当塾は、受講者の親睦を図っていただくよう、宿泊研修や交流会を設け、また幅広い人脈づくり及びビジネスマッチング等お客さま相互の発展と繁栄のお手伝いをしています。

おかげさまで、平成23年2月に第3期生51名が3年間の課程を全て修了し、卒業されました。



景況レポートの発行

営業地域内の景気動向を把握し、景気に関する情報提供を行うことを目的として、お取引先企業のご協力のもと四半期ごとに景気動向調査を行い、その結果を「ばんしん景況レポート」として公表しています。

当金庫ホームページにも掲載し、より多くの方に閲覧していただけるようにしています。



店舗ネットワークの充実

当金庫では、地域の皆さまによりいっそう便利にご利用いただけるよう、店舗の拡充・既存店舗の改築等に積極的に取り組んでいます。平成22年12月に明石支店を建替え、平成23年4月には土山支店・東加古川支店を新築移転しました。また、保城支店、二見支店、大久保支店の改装工事を行い、ロビーの拡張、相談ブースを設置するなど店舗機能を強化しました。

今後もさらにお客さまの利便性向上に努め、地域に密着したきめ細かな営業活動を展開してまいります。

新店舗



◎西宮北支店
(平成23年6月8日
オープン)



新築移転店舗



◎土山支店
(平成23年4月4日 新築移転オープン)



建替店舗



◎明石支店
(平成22年12月6日
建替オープン)



◎東加古川支店
(平成23年4月11日 新築移転オープン)





地域貢献活動

文化講演会

当金庫は、例年、経済・政治・文化等幅広い分野の専門家・評論家等著名な講師を招き、文化講演会を開催しています。平成22年度は、経済ジャーナリストとしてテレビやラジオ等で活躍中の財部誠一氏をお招きし、『年末～2011年の経済・景気と中小企業の生きる道』というテーマで講演していただきました。



ばんしん旅行友の会

地域のお客さまとの親交を深める「ばんしん旅行友の会」では毎年国内旅行を実施しています。平成22年度は、「瀬戸内海ランチクルーズと長門湯本温泉2日間の旅」を実施し、900名近いお客さまにご参加いただきました。



マラソン大会に協賛

平成22年11月21日に開催された「2010神戸全日本女子ハーフマラソン大会」及び平成23年2月11日に開催された「第51回姫路城ロードレース大会」に地元企業として特別協賛しました。



義援金活動

災害発生時には、被災された方々を支援するため義援金窓口を設け、広く義援金を受け付けています。平成23年3月11日に発生した東日本大震災では、いち早く金庫から5,000万円の災害義援金を拠出することとし、また、当金庫役職員から義援金を募集したところ、当金庫役職員から1,386万円、当金庫関連会社より400万円、当金庫関連会社社員より75万円の善意が集まり、総額6,861万円を日本赤十字社を通じて被災者の方々にお届けしました。

ビジネスインターンシップの受け入れ

大学生を対象とした企業実習（インターンシップ）を毎年行っており、平成22年度は14大学から36名の学生を受け入れ、当金庫の業務を体験していただきました。



ベトナム人支援

姫路在留ベトナム人への日本語指導ボランティアに対して、日本語検定試験費用の支援や日本語スピーチコンテストに協賛しています。



留学生支援

姫路獨協大学と兵庫県立大学の留学生を対象に、毎月奨学金を寄贈しています。

トライやる・ウィークの受け入れ

子どもたちに地域社会での様々な活動を体験し、人生を力強く生き抜くことを目的として実施されている「トライやる・ウィーク」に賛同し、平成22年度は5名の中学生を受け入れ、様々な業務を体験していただきました。



ボランティア活動



須磨海岸清掃活動や姫路城清掃活動「愛城会」に多数の職員が参加しています。

観光冊子の発行

地域貢献活動の一環として、全国に誇れる兵庫県南部エリアの魅力を紹介した観光冊子「播磨と摂津のお国自慢」を平成22年8月に発行しました。



壁面緑化

土山支店では、駐車場壁面に植物を植え壁面緑化に取り組んでいます。壁面緑化はヒートアイランド現象の緩和や空気の浄化、省エネルギー化など、環境への様々な効果を生み出します。《ばんしん》では環境低負荷、自然共生型の社会の実現を目指しています。

